



## ごあいさつ

### 持続可能な社会の実現を目指し、企業グループが一体となって環境への取り組みを進めていきます

昨今、持続可能な社会の実現に対する関心が急速に高まっています。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けた取り組みの広がりや、非財務情報である環境・社会・ガバナンスへの対応を投資判断の材料とする「ESG投資」の国内外での浸透などの動きが顕著になっています。

また、国内の環境・エネルギー政策に目を転じますと、本年4月に「環境基本計画」、また7月には「エネルギー基本計画」が改定されるなど、環境経営を取り巻く状況は大きく変化しています。

東北6県および新潟県を基盤にエネルギーサービスを展開している私たち東北電力グループは従来から、環境保全を経営の重要課題の一つと位置付けており「地球温暖化対策」「地域環境の保全」「循環型社会の形成」などに取り組んでいます。今後も、持続可能な社会の実現を目指し、環境への取り組みを進めていきます。

さらに昨年からは、中期環境行動計画の基本的な考え方と方向性を企業グループ各社と共有するなど、当社企業グループがより一体となって環境経営を推進しています。

## S+3Eを踏まえた地球温暖化対策を積極的に推進していきます

地球温暖化対策に関しては、2016年にパリ協定が発効され、国内においても長期戦略についての議論が開始されています。

当社は、電力業界の自主的枠組みである「電気事業低炭素社会協議会」の一員として、

「S+3E:安全確保(Safety)を大前提として、エネルギーの安定供給(Energy security)、経済性(Economy)、環境保全(Environmental conservation)」の観点を踏まえた最適なエネルギーミックスの追求と、地球温暖化対策の両立を目指し、多面的な対応を進めています。

具体的な取り組みとして、供給面では、安全確

保を大前提とした原子力発電所の再稼働に取り組むとともに、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入拡大や火力発電の更なる高効率化、送配電における電力損失などを進めています。

また需要面では、省エネ性に優れたヒートポンプ機器の導入促進などのお客さまのエネルギーの効率的利用の支援を行っているほか、当社企業グループの事業活動においても、環境性能に優れた車両の導入や事業所における省エネなど、地球温暖化対策をあらゆる側面から推進していきます。

## 環境コミュニケーション・環境情報開示の更なる充実に努めていきます

当社企業グループでは、環境への取り組みを本レポートにて毎年公表するなど、環境コミュニケーションや環境情報開示に積極的に取り組んでいます。

最近の新たな環境情報開示への具体的な対応としては、気候変動分野などにおける企業の情報開示を評価する国際NGO「CDP」からの質問書への回答や、環境省が企業と投資家等を結ぶコミュニケーションの場としての実証事業を行う

「環境情報基盤整備事業」への参加などに取り組んでいます。

ステークホルダーの皆さまの企業に対する環境情報開示への関心の高まりも踏まえ、当社企業グループの環境への取り組みをご理解いただけるよう、今後も適確な情報開示や双方向のコミュニケーションに取り組むなど、更なる充実に努めていきます。

東北電力株式会社  
環境推進総括責任者

常務執行役員

八代 浩久